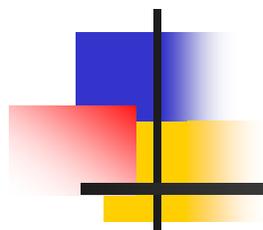
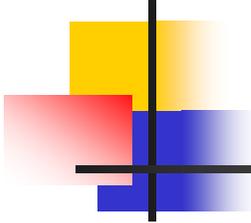


# 平成21年3月期第2四半期決算説明資料



平成20年12月  
滝沢ハム株式会社  
(ジャスダック・2293)

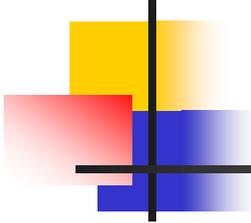


## 会社のプロフィール

---

平成20年3月31日現在

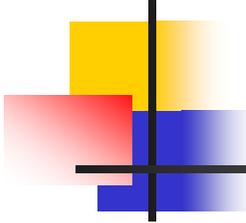
- 商号 滝沢ハム株式会社
- 本店 栃木県栃木市泉川町556番地
- 代表者 代表取締役社長 瀧澤 太郎
- 設立 昭和25年12月
- 資本金 10億8,050万円
- 売上高 341億2,692万円(連結)
- 従業員 486名(連結)



# 会社の沿革

---

- 昭和25年12月 会社設立（株）滝沢武商店） 本店東京都千代田区
- 昭和39年12月 宮城県仙台市に仙台工場を新設
- 昭和41年3月 商号を滝沢ハム株式会社に変更
- 昭和47年2月 栃木県栃木市に泉川工場を新設
- 昭和51年10月 オランダで開催の国際食肉ハムオリンピックで金メダル受賞
- 昭和58年5月 栃木本社事務所を栃木県栃木市祝町から栃木市泉川町に移転
- 昭和58年5月 栃木県栃木市に手造り工場「チェリースモークハウス」を新設
- 昭和60年10月 栃木県栃木市に泉川ミートセンターを新設
- 昭和61年4月 栃木県宇都宮市に大谷天然熟成プラントを新設、イタリア式生ハムを製造開始
- 平成2年11月 日本証券業協会に店頭登録（現ジャスダック証券取引所）
- 平成6年11月 栃木県栃木市に泉川物流センターを新設
- 平成11年10月 栃木県下都賀郡大平町にデリカ工場を新設
- 平成16年4月 宮城県角田市に仙南みらい工房ビッセン（仙南工場）を新設
- 平成17年1月 本店所在地を栃木県栃木市に移転
- 平成19年3月 栃木県上都賀郡西方町に西方工場「魁」を新設。
- 平成20年2月 宮城県仙台市の仙台工場及び栃木県栃木市のいわい惣菜加工センターを閉鎖



## 事業内容

- 当社グループは、食肉加工品（ハム・ソーセージ）、惣菜商品及び食肉製品の製造、販売を主な事業としております。

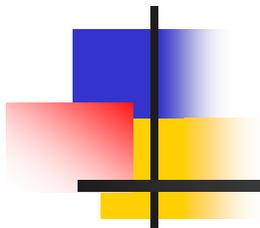
- 連結子会社  
（会社名）

（資本金）

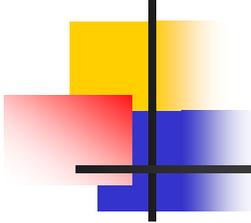
（事業内容）

株式会社テルマフーズ	60百万円	食肉及び食肉加工品の製造販売
株式会社ワールドフードサービス	20百万円	飲食業
株式会社泉川運輸	20百万円	運送業
株式会社菖蒲フーズ	20百万円	食肉及び食肉加工品の製造販売
栃木シー・エス株式会社	10百万円	畜産物加工処理請負
六合ハム販売株式会社	10百万円	食肉加工品の販売
株式会社前日光都賀牧場	20百万円	畜産業

# 平成21年3月期第2四半期決算概要



平成20年12月  
滝沢ハム株式会社  
(ジャスダック・2293)



## 平成21年3月期第2四半期決算の総括

- 当上半期は、原油・穀物価格高騰等が企業収益や個人消費を圧迫する中、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機により国内景気の減速感が強まってまいりました。当業界におきましても、原料価格の高騰や食品企業の安全・安心に関する諸問題が相次いで発生するなど大変厳しい状況となりました。
- 当社グループは、生産面におきましては、生産効率を高めるため不採算商品の統廃合、製造コストの削減に努めてまいりました。また、営業面におきましては、原料価格の高騰に対応するため商品価格の改定及び商品の入れ替え等を行い、収益の改善に取り組みました。しかしながら、取引先のブランド統一等の商品政策変更によりハム・ソーセージを中心に売上が減少し厳しい結果となりました。
- この結果、当第2四半期累計期間の売上高は163億（前年同期比4.6%減）となりました。損益面につきましては、売上減少による売上総利益の減少により営業利益9百万円（前年同期1億41百万円の営業損失）、経常損失14百万円（前年同期1億54百万円の経常損失）となりました。四半期純損益については、特別損失として固定資産除却損23百万円を計上したことや繰延税金資産の取崩し86百万円を行ったことにより、四半期純損益は1億31百万円の四半期純損失（前年同期3億38百万円の四半期純損失）の計上となりました。

## 四半期損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	20年9月期	19年9月期	比較増減	備考
売上高	16,300	17,087	-787	ハム・ソーセージの売上減少675百万円
売上原価	13,694	14,455	-761	
販売費及び一般管理費	2,596	2,773	-177	販管比率-0.3%
営業利益	9	-141	150	工場閉鎖等製造コスト削減により改善
営業外収益	59	59	0	
営業外費用	82	73	9	支払利息10百万円増
経常利益	-14	-154	140	
特別利益	6	1	5	
特別損失	28	164	-136	固定資産除却損23百万円(前年138百万円)
四半期純利益	-131	-338	207	

## 四半期貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	20年9月期	19年9月期	比較増減	備考
流動資産	6,768	8,198	-1,430	売掛金-775百万円、たな卸資産-489百万円
固定資産	6,236	7,333	-1,097	建物及び構築物-462百万円、繰延税金資産-330百万円
資産合計	13,004	15,531	-2,527	
流動負債	8,011	8,956	-945	買掛金-1443百万円、未払金-250百万円、短期借入金+661百万円
固定負債	3,101	3,318	-217	長期借入金-47百万円、社債-80百万円
負債合計	11,112	12,274	-1,162	
資本金	1,080	1,080	0	
資本剰余金	804	824	-20	
利益剰余金	73	1,343	-1,270	前期当期純損失1,487百万円計上
その他有価証券評価差額金	-62	12	-74	
純資産合計	1,892	3,257	-1,365	

## 四半期キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)	20年9月期	19年9月期	比較増減	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	457	-270	727	税金等調整前四半期純損失-36百万円、 たな卸資産の減少+286百万円、売上債権 の減少234百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	-102	-220	118	有形固定資産の取得-96百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	16	728	-712	短期借入金の減少-188百万円 長期借入+400百万円、長期借入返済-154百万円
現金及び現金同等物の 増加額	372	238	134	
現金及び現金同等物の 期首残高	826	1,090	-264	
現金及び現金同等物の 期末残高	1,199	1,329	-130	

# 部門別売上高

(単位:百万円)

事業部門	20年9月第2四半期		19年9月第2四半期		比較増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	増減率
食肉加工品	5,581	34.2%	6,256	36.6%	-675	-10.8%
惣菜その他	2,266	13.9%	2,361	13.8%	-95	-4.0%
食肉	8,354	51.3%	8,371	49.0%	-17	-0.2%
その他	98	0.6%	97	0.6%	1	1.1%
合計	16,300	100.0%	17,087	100.0%	-787	-4.6%

食肉加工品

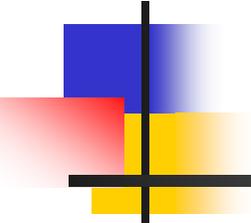
国産原料のハム・ソーセージの減少

惣菜その他

パン粉付商品、味漬け肉の減少、ハンバーグの増加

食肉加工品

国産牛肉の売上高減少

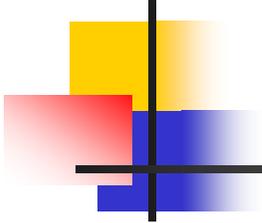


# 平成21年3月期 業績予想

---



滝沢ハム株式会社



## 平成21年3月期 業績予想(連結)

(単位:百万円)	21年3月期予想	20年3月期実績	増減	備考
売上高	33,100	34,126	-1,026	
経常利益	60	-406	466	
当期純利益	-90	-1,487	1,397	
EPS(円)	-8.76	-144.84	136.08	

EPS=1株当たり当期純利益

※ 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により、記載の業績予想と異なる結果になる場合があります。

# 経営方針と今後の取り組み

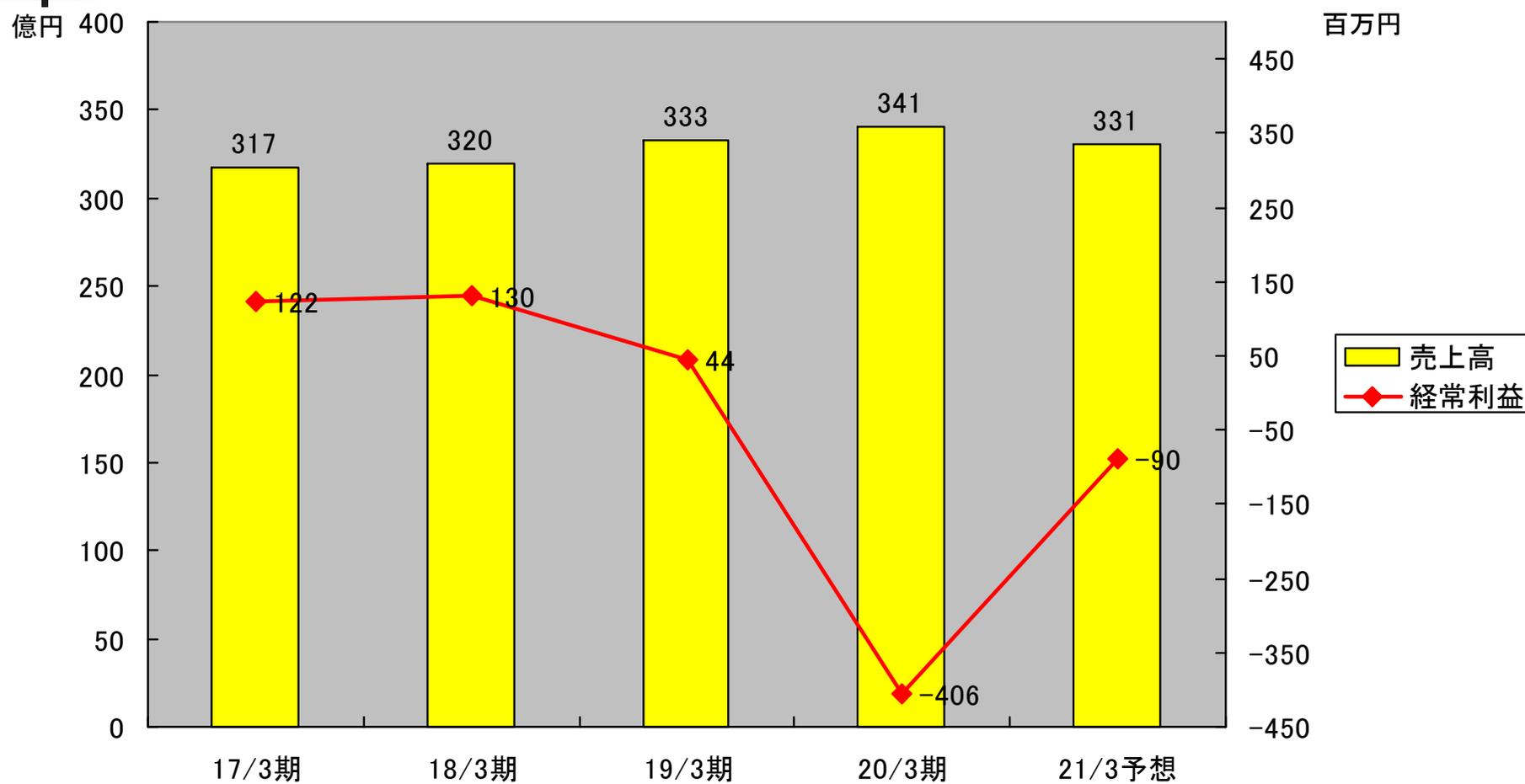
## 経営方針

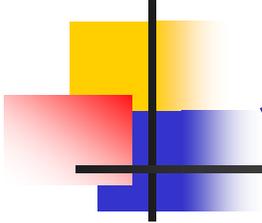
「より良い食品を通じて食文化の向上と健康増進に貢献する。」を経営理念としております。お客様に対し、安全、安心で、よりおいしい商品を常に提供し続けてまいります。

## 今期の取り組み

1. 価格競争力の強化  
(新商品開発、不採算商品の統廃合、製造コストの削減)
2. 惣菜部門の強化
3. 販売部門の効率化
4. 国産牛肉、豚肉のブランド力強化
5. 旧仙台工場等の遊休資産の売却による財務体質の強化
6. 内部統制システムの確立

# 売上高、経常利益の推移(連結)





## 本資料に関するお問い合わせ

---

- 滝沢ハム株式会社
- 経営企画室
- TEL : 0282-23-5640
- E-mail: [tk4903@takizawaham.co.jp](mailto:tk4903@takizawaham.co.jp)